

## 研究活動一覧

(注：新聞の書評等の連載につきましては多数のため除外しております)

秋林 こずえ

&lt;著者&gt;

- 「ジェンダーと人間の安全保障—アジアから」 田中かず子編 ICU21世界  
COEシリーズ第7巻 アジ  
アから視るジェンダー (風行社)  
pp.55-69 2008年1月
- 「家父長制と軍事主義、そして女たちの抵抗」 『インパクション』163号 (イ  
ンパクション出版会) pp.129-  
137 2008年5月

&lt;学会・研究発表&gt;

- “Impact of US bases on Women and the Anti-Base  
Movement in Japan” Community Forum on  
Women and Human Rights,  
University of Guam 2008年1月  
28日 2008年1月
- “Militarism and Women’s Activism” International Women’s Day  
Forum, Columbia University 2008年3月  
8日 2008年3月
- 「WILPF Internationalの活動—国連女性の地位向上  
委員会」 婦人国際平和自由連盟日本支  
部研修会 桜楓会館  
2008年5月17日 2008年5月
- 「ジェンダー研究から見る在日米軍基地」 日本アメリカ史学会第13回例  
会 明治大学  
2008年7月12日 2008年7月
- “Okinawa, Gender, and Militarization” 第5回東アジア学国際学術シ  
ンポジウム「21世紀の東アジ  
ア—平和・安定・共生」大阪  
国際交流センター  
2008年9月21日・22日 2008年9月
- 「軍隊×平和×オキナワ～起り続ける暴力に声を上  
げる」 (財)おきなわ女性財団  
「ているる」講座 沖縄県男  
女共同参画センター  
2008年9月28日 2008年9月
- “Peace Museums as Venues and Agents of  
Independent Student Learning” 第6回世界平和博物館会議  
「平和教育の拠点としての平  
和ミュージアム」分科会 立  
命館大学 2008年10月6日 2008年10月

&lt;その他&gt;

- “Bridging Multiple Divides in the Global  
International Studies Classroom through Active  
Learning”, chair International Studies  
Association’s 49th Annual  
Convention, San Francisco,  
2008年3月26日 2008年3月

立命館国際研究 21-3, March 2009

「平和をつくる女性パワー」パネル・ディスカッション 司会	9条世界会議「9条を生かす」シンポジウム 幕張メッセ国際会議場 2008年5月5日	2008年5月
「ジェノサイドとセクシズム —ジェノサイドにおけるジェンダー性の究明」討論者	日本平和学会2008年度春季研究大会 東京女子大学 2008年6月14日・15日	2008年6月

足立 研幾

<著書>

『国際社会の意義と限界』（共著）	国際書院	2008年3月
------------------	------	---------

<論文>

「国際制度形成過程における政府—NGO関係：共鳴・協働・競合」	『立命館国際研究』21巻1号 pp.1～17 立命館大学国際関係学会	2008年6月
---------------------------------	------------------------------------	---------

“Changing Roles of NGOs in the Age of Globalization”	『立命館大学人文科学研究so 紀要英語版』第一号	2008年12月
--	--------------------------	----------

<学会発表>

「レジーム間相互作用の促進アクターとしてのNGO —通常兵器ガヴァナンスを中心に」	日本政治学会	2008年10月
---	--------	----------

「2008年立命館大学国際関係学部におけるグローバル・シミュレーション・ゲーミング」	日本シミュレーション&ゲーミング学会近畿東海国際政治シミュレーション&ゲーミング部会	2008年9月
--	--	---------

安齋 育郎

<著書>

『10万人が殺された日』	『ビジュアルブック 語り伝える空襲』第1巻 新日本出版社	2008年4月
--------------	------------------------------	---------

『日本が戦場になった日』	『ビジュアルブック 語り伝える空襲』第2巻 新日本出版社	2008年5月
--------------	------------------------------	---------

『ふりそそぐ爆弾の雨』	『ビジュアルブック 語り伝える空襲』第3巻 新日本出版社	2008年6月
-------------	------------------------------	---------

『逃げまどう市民たち』	『ビジュアルブック 語り伝える空襲』第4巻 新日本出版社	2008年7月
-------------	------------------------------	---------

『人類初の核攻撃』	『ビジュアルブック 語り伝える空襲』第5巻 新日本出版社	2008年7月
-----------	------------------------------	---------

<論文>

- 「平和のための博物館」の条件—日中両国の平和的・共生的関係の発展のために— 『立命館平和研究』第9巻 pp.11-19 立命館大学国際平和ミュージアム 2008年3月
- “Museums for Peace: Past, Present and Future” (共著) 第6回国際平和博物館会議 2008年10月
- 「原爆症認定集団訴訟で何が問われたか」 『前衛』2008年8月号No.833 日本共産党中央委員会 2008年8月
- <調査報告>
- 「世界の平和博物館のリストと研究文献について」 (共著) 『立命館平和研究』第9巻 pp.91-96 立命館大学国際平和ミュージアム 2008年3月

<その他の文筆活動>

- 「『血液ドロドロ詐欺』と『幽霊ひゅーどろどろ事件』」 (靈感を科学する第72回) 『上方芸能』第167号 上方芸能編集部 (2008年3月10日号) 2008年3月
- 「『あれかこれか』から『あれもこれも』へ」 (靈感を科学する第73回) 『上方芸能』第168号 上方芸能編集部 (2008年6月10日号) 2008年6月
- 「『ぶりかえす振り込め詐欺にご用心、ご用心!』」 (靈感を科学する第74回) 『上方芸能』第169号 上方芸能編集部 (2008年9月10日号) 2008年9月
- 「高校生からの質問に答えて」 (靈感を科学する第75回) 『上方芸能』第170号 上方芸能編集部 (2008年12月10日号) 2008年12月

石原 直紀

<論文>

- 「平和維持と平和構築」 (共著) 『国際政治学入門』大芝亮編 ミネルヴァ書房 2008年11月

板木 雅彦

<著書>

- 田中祐二, 板木雅彦編『岐路に立つグローバリゼーション—多国籍企業の政治経済学』 (共著) ナカニシヤ出版 2008年12月

及川 正博

<著書>

- 『アーサー・ミラー劇における倫理性—個人と社会の連帯性を巡って—』 (単著) 金星堂 2008年9月

<学会報告, 司会>

- |   |   |          |
|---|---|----------|
| 「ブルネイ・ダルサラーム国の二言語現象と英語一過去と現在一」芝田征二(香川大学教授) : 司会   | 第24回日本比較生活文化学会<br>研究発表大会 日本大学(三<br>島キャンパス)<br>2008年11月29日 | 2008年11月 |
| “Japanese Style Debate: Hexagonal Debate as a Means of Intercultural Communication” 松本道弘(国際ディベート学会会長) との対談および司会 | 立命館大学国際関係学部学術<br>講演会 立命館大学国際関係<br>学部 2008年12月22日          | 2008年12月 |

大島 堅一

<著書>

- |                                       |   |          |
|---------------------------------------|---|----------|
| 吾郷健二・佐野誠・柴田徳太郎編『現代経済学 市場・制度・組織』(分担執筆) | 『環境の政治経済学』<br>pp.229-247 岩波書店           | 2008年9月  |
| 田中祐二・板木雅彦編『岐路に立つグローバリゼーション』(分担執筆)     | 『気候変動問題の現状と今後の課題』 pp.219-237<br>ナカニシヤ出版 | 2008年12月 |

<論文>

- |  |                                 |          |
|--|---------------------------------|----------|
| 「日本の温暖化防止政策の評価と展望」   | 『環境と公害』第37巻4号<br>pp.53-60       | 2008年4月  |
| 「京都議定書目標達成計画の問題点」  | 『農業と経済』第74巻7号<br>pp.48-56       | 2008年7月  |
| 「軍事環境問題の解決に向けて—アジアにおける米軍基地問題から考える」(林公則・大妻女子大学非常勤講師, 除本理史・東京経済大学教授との共著) | 『軍縮問題資料』335号<br>pp.2-10         | 2008年10月 |
| 「欧州における再生可能エネルギー政策の展開」   | 『公共政策研究』公共政策学<br>会 第8号 pp.51-62 | 2008年    |

<学会発表>

- |                         |   |          |
|-------------------------|---|----------|
| 「EUにおける統合された環境・エネルギー政策」 | 日本EU学会 第29回(2008<br>年度) 研究大会<br>2008年11月22日 | 2008年11月 |
|-------------------------|---|----------|

<研究発表>

- |   |  |         |
|---|--|---------|
| "Economics of Nuclear Power: Case of Japan" | 13th Annual Meeting of<br>Reform Group, 19 Sep.,2008 | 2008年9月 |
|---|--|---------|

奥田 宏司

<論文>

- |   |  |         |
|---|--|---------|
| 「アメリカ経常赤字の「自動的ファイナンス」論について—国際通貨ドル論とI-Sバランス論の問題点—」 | 『立命館国際研究』20巻3号<br>pp.55-76 立命館大学国際関<br>係学会 | 2008年3月 |
| 「ドル体制の変容と現代国際金融」                                  | 『経済』新日本出版社<br>pp.152-174                   | 2008年8月 |

「東アジアの通貨・為替制度と人民元—東アジアにおける「通貨協力」の現実性—」  
『立命館国際研究』21巻2号 pp.1-21 立命館大学国際関係学会 2008年10月

夏 剛

<論文>

「以“文温”辅“经热”、融“政冷”：增进中日相互理解的治本之路」  
『立命館国際研究』20巻3号 77-112頁 立命館大学国際関係学会 2008年3月

「中日社会、文化多面比較：風土、国情篇——地縁人文層次的考察（6）」  
『立命館国際研究』21巻1号 57-110頁 立命館大学国際関係学会 2008年6月

「中日社会、文化多面比較：風土、国情篇——地縁人文層次的考察（7）」  
『立命館国際研究』21巻2号 23-81頁 立命館大学国際関係学会 2008年10月

<その他の文筆活動>

「従阪神親照汶川」  
[北京] 世界知識出版社、『世界知識』総第1487号 25-27頁 2008年6月16日 2008年6月

「東京：走向奧運会的曲折歷程」  
[北京] 世界知識出版社、『世界知識』総第1490号, 60-61頁 2008年8月1日 2008年8月

桂 良太郎

<著書>

「国際理解教育の課題と展望—いまなぜ国際理解教育か—」（開発教育・国際福祉の視点からセミナーをとらえる）（共著）  
『手づくりの国際理解教育—ベトナム障害児スタディツアー—』かもがわ出版 136-146頁 2008年8月

<論文>

“Peace, Well-being and Peace Museums: Towards a New Paradigm”  
“Museums for Peace: Past, Present and Future” pp.90-98 The Organizing Committee of The Sixth International Conference of Museums for Peace, Kyoto Museum for World Peace, Ritsumeikan University 2008年10月

<その他の文筆活動>

「地域創造」と平和博物館—平和博物館のあらたな役割と課題（研究ノート）  
『立命館平和研究』第9号 49-54頁 立命館大学国際平和ミュージアム 2008年3月

「ユニバーサル・ヒューマン・ライツと「まちづくり」」（評論）  
『居住福祉研究』6号 東信堂 日本居住福祉学会 2008年4月

立命館国際研究 21-3, March 2009

- 「K」のパラダイム—官制から感性へ— (エッセイ) 『えっせい』立命館大学人間科学研究所 2008年10月
- <講演>
- 「平和博物館の現状と果たすべき役割」4回シリーズ  
1.戦争博物館と平和博物館 2.欧米の平和博物館 3.アジアの平和博物館 4.これからの平和博物館の未来像について 川西市生涯学習センター近代史学科「戦争と平和史」 2008年11月12月  
川西市生涯学習センター
- 「アジアからみた日本の社会福祉」 神戸シテカレッジ 国際コース 2008年3月11月
- <研究発表>
- 「アジアの高齢化問題の動向と課題—ベトナムの家族と福祉的課題から」 ベトナム人文科学研究センター—主催 2008年度月例学術研究会 於：ホーチミン市ベトナム人文科学研究センターベトナム人文科学研究センター— (Dr.Cuong博士) 2008年12月
- 「アジアの高齢化問題の動向と課題—ベトナムとシンガポール」 国立シンガポール大学人文社会学部ソーシャルワーク学科主催 研究集会 於：ホリデイインホテル (シンガポール) 国立シンガポール大学人文社会学部ソーシャルワーク学科 (J.Ang 上級講師) 2008年12月

加藤 恒彦

- <著書>
- 『キャロル・フィリップスの世界—ブラック・ブリテッシュ文学の現在』 世界思想社 2008年3月
- <論文>
- 「水に沈められた幼心—イシグロの『遠い丘の光』を読む」 『黒人研究』No.77号 pp.62-72 黒人研究会の会 2008年3月
- 「モニカ・アリの『ブリック・レーン』—女性・伝統・移民・変容」 『英語文学とフォークロア—歌、祭り、語り』pp.290-309 南雲堂フェニックス 2008年12月
- <書評>
- マーティン・バナール (片岡幸彦監訳) 『ブラック・アテナー—古代ギリシャ文明のアフロ・アジア的ルーツ: I.古代ギリシャの捏造1785-1985』 『黒人研究』No.77 pp.106-107 黒人研究会の会 2008年3月

河村 律子

- <論文>
- 「ソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS) の利用可能性」 『大学時報』318号, pp.80-83 2008年1月  
社団法人日本私立大学連盟

研究活動一覧

「政策評価制度によせる期待」	『都市政策・京都』21号, pp.65-77 京都市	2008年3月
<学会発表>		
「日米韓の消費者の食品リスク認知に関する予備的比較分析」(共同)	2008年度日本農業経済学会大会	2008年4月
<b>君島 東彦</b>		
<著書>		
『非武装のPKO—NGO非暴力平和隊の理念と活動』(編著)	明石書店	2008年4月
<論文>		
「現代国際政治と平和主義」「憲法政策学」	杉原泰雄編『新版 体系憲法事典』青林書院 202-206頁, 300-303頁	2008年7月
「グローバルな立憲主義の現段階——NGOのプロジェクト”GPPAC”を契機とする若干の考察」	深瀬忠一・上田勝美・稲正樹・水島朝穂編『平和憲法の確保と新生』北海道大学出版会 322-349頁	2008年12月
<学会発表>		
“Bridging Multiple Divides in the Global International Studies Classroom through Active Learning”	International Studies Association 49 <sup>th</sup> Annual Convention San Francisco Mar. 26, 2008	2008年3月
「自衛隊イラク派兵差止等請求事件・名古屋高裁判決について」	日本平和学会秋季研究集会 「憲法と平和」分科会 於・名古屋学院大学 2008年11月22日	2008年11月
“Article 9 of the Japanese Constitution”	Asia Pacific Law School Deans Joint Conference Shantou University Law School Nov. 29, 2008	2008年11月
<講演>		
「国際関係としての憲法9条」	近畿大学文芸学部講演会 2008年11月11日	2008年11月
<b>佐藤 誠</b>		
<論文>		
「社会的経済と企業の社会的責任」	中川雄一郎・柳沢敏勝・内山哲朗編『非営利・協同システムの展開』日本経済評論社	2008年

< 研究報告 >

- |  |  |         |
|--|--|---------|
| “Human Security and Japanese Perception”                                     | Globalization, Difference, and Human Security organized by a Global COE Program: A Research Base for Conflict Studies in the Humanities, Osaka University<br>04 March 2008 | 2008年3月 |
| “Nursing and Care Migrant Workers in the Context of Human Security in Japan” | Workshop on Human Security and Migration: Southern Africa and Japan in Comparative Perspective<br>Pretoria University,<br>1-2 September 2008                               | 2008年9月 |

末近 浩太

< 論文 >

- |  |                                       |         |
|--|---------------------------------------|---------|
| 「アラブ諸国における宗教とナショナリズム：レバノンの宗派主義体制の事例から」 | 『立命館国際研究』第21巻第1号 pp.19-38 立命館大学国際関係学会 | 2008年6月 |
|--|---------------------------------------|---------|

< 翻訳 >

- |                                |                              |         |
|--------------------------------|------------------------------|---------|
| 「シリア・イスラーム革命宣言および綱領」(末近浩太訳・注解) | 『イスラーム世界研究』第2巻第1号 pp.259-270 | 2008年9月 |
|--------------------------------|------------------------------|---------|

< その他の文筆活動 >

- |  |   |         |
|--|---|---------|
| 末近浩太編 『現代中東政治学リーディングガイド』(Cias Discussion Paper No.6) | 京都大学地域研究統合情報センター  | 2008年3月 |
| 「中東政治学」 「レバノン」                                       | 末近浩太編 『現代中東政治学リーディングガイド』(Cias Discussion Paper No.6) 京都大学地域研究統合情報センター | 2008年3月 |
| 「海外文献調査ガイド・イギリス」                                     | 小杉泰・東長靖・林加世子編 『イスラーム世界研究マニュアル』名古屋大学出版会                                | 2008年7月 |

< 講演 >

- |                         |   |          |
|-------------------------|---|----------|
| 「イスラーム主義過激派の勢力の台頭とその背景」 | ひょうご震災記念21世紀研究機構・ひょうご講座「中東問題とイスラームへの理解を深める」第9回講義2008年11月11日(兵庫県民会館) | 2008年11月 |
|-------------------------|---|----------|

< 研究発表 >

- |  |   |         |
|--|---|---------|
| 「現代中東における国民国家・ナショナリズム・宗教：レバノン内戦とその後の『国家』建設の事例から」 | G-COE生存基盤持続型の発展を目指す地域研究拠点・第6回「次世代の地域研究」研究会 2008年3月17日(京都大学) | 2008年3月 |
|--|---|---------|



研究活動一覧

「レバノン・ヒズブラーの組織構造と社会活動の実態」	NIHUプログラム・イスラーム地域研究・早稲田拠点・研究グループ2「アジア・ムスリムのネットワーク」研究班3「イスラームとNGO」研究会 2008年6月15日（早稲田大学）	2008年6月
「レバノン・イスラエル国境における『恐怖の均衡』とその動揺：2006年『レバノン紛争』を事例として」	科学研究費補助金（基盤研究（A）一般）「湾岸産油国を中心とする中東の予防外交の可能性に関する研究」研究会 2008年8月24日（東北大学）	2008年8月
<調査報告>		
「第二共和制下のヒズブラー：『レバノン化』による勢力拡大（1991～2004年）」	「シーア派諸社会の特質とネットワークを考察するための総合研究」（平成18年度～平成19年度科学研究費補助金（基盤研究（A）一般）研究成果報告書）	2008年6月
<b>高橋 伸彰</b>		
<論文>		
「新訳が証明する「ケインズは死んでいない」」	『週刊東洋経済』2008年9月13日号 pp.110-113 東洋経済新報社	2008年9月
「時代が求めたハイエクの「新自由主義」思想」	『週刊東洋経済』2008年11月1日号 pp.150-153 東洋経済新報社	2008年11月
「富の追求を自然の欲望と承認した経済学の帰結」	『週刊東洋経済』2008年12月13日号 pp.106-109 東洋経済新報社	2008年12月
「家計を支援する「定額給付金」の意義」	『潮』2009年1月号 pp.116-117 潮出版社	2008年12月
<講演>		
「地域の経済課題—夕張から世界へ」	フォーラム in 札幌時計台 2008年3月20日	2008年3月
「日本経済 これからのシナリオ」	九州生産性本部経営講座 2008年11月12日	2008年11月
「グローバル経済の危機と都市の再生」	大阪市立大学大学院 創造都市研究科 重点研究シンポジウム 基調講演 2008年11月17日	2008年11月
「金融危機と日本の課題—何が問われているか」	全国自治団体労働組合主催 2009春闘中央討論集会 2008年12月17日	2008年12月

竹内 隆夫

<調査報告>

- 「タイ・ローイエット県調査報告」 『東アジアにおける「地方的世界」の基層・動態・持続可能な発展に関する研究』 pp.118-128 神戸大学(科学研究費・基盤研究A研究成果中間報告書) 2008年3月

龍澤 邦彦

<学会報告>

- 「グローバル法とトランス・ナショナル・コンステイテューションナリズム」 第100回憲法学会研究集会 憲法学界 国士舘大学 2008年10月25日 2008年10月

中川 涼司

<著書>

- 「中国企業によるクロスボーダーM&Aの発展とその意義・問題点」 『平成19年度 中国企業のグローバル化報告書』 pp.14-17 財団法人国際貿易投資研究所 2008年3月
- 『中国発・多国籍企業』 丸川知雄共編 i-viii pp.1-234 2008年11月 同友館
- 「中国企業の対外M&A」 丸川知雄・中川涼司編著『中国発・多国籍企業』, pp.21-42 2008年11月 同友館
- 「華為技術(ファーウェイ)と聯想集団(レノボ) — 多国籍企業化における2つのプロセス—」 丸川知雄・中川涼司編著『中国発・多国籍企業』, pp.69-96 ページ 2008年11月 同友館
- 「中国における企業ガバナンスと市場ガバナンス—会社法改正と独占禁止法制定に関する動きから—」 田中祐二・板木雅彦編『岐路に立つグローバリゼーション 多国籍企業の政治経済学』 pp.119-141 ナカニシヤ出版 2008年12月

<論文>

- 「中国のIT企業家とその形成モデル」 『国際地域研究』 第28号 pp.59-90 立命館大学国際地域研究所 2008年12月

<翻訳>

- 劉偉東「日中企業協力の新時代」 『国際地域研究』 第28号 pp.17-25 立命館大学国際地域研究所 2008年12月

<学会発表>

「中国企業の『走出去』プロセスとクロスボーダーM&A」	アジア経営学会第15回全国大会統一論題「アジアにおけるグローバル化と企業経営の新段階」2008年9月14日	2008年9月
-----------------------------	---	---------

<講演>

「日中ソフトウェア・オフショア・アウトソーシングの進展とIT人材―日中戦略的互惠関係の一側面―」	立命館孔子学院東京学堂「日中戦略的互惠関係シリーズ講座」2008年12月19日	2008年12月
--	---	----------

「中国は創新（イノベーション）型経済に転換可能か？」	2008年度伊丹市市民アカデミー 中国理解講座パート1 第6回 2008年7月12日	2008年7月
----------------------------	--	---------

<その他の文筆活動>

「IT―機構改革とIT産業第11次5カ年計画―」	『中国産業動向季報』新華通信ネットジャパン	2008年4月
--------------------------	-----------------------	---------

「IT―2008年前半期の特徴および電気通信キャリアの再編―」	『中国産業動向季報』新華通信ネットジャパン	2008年9月
---------------------------------	-----------------------	---------

「ワールドインパクト―中国の産業 パソコン」	『国際貿易』 第3面 日本国際貿易促進協会	2008年9月
------------------------	-----------------------	---------

中達 啓示

<学会発表>

“Diplomacy of East Asian Financial Cooperation”	3rd GARNET Annual Conference, Mapping Integration and Regionalism in a Global World: The EU and Regional Governance outside the EU (at Science Po Bordeaux, Bordeaux, France) 17-20 September 2008	2008年9月
---	--	---------

“China, Japan and Diplomacy of East Asian Financial Integration”	2008 Six University Symposium, How Should the World Live with China? (at Ritsumeikan University, Biwako-Kusatsu Campus, Shiga, Japan November 6-7, 2008)	2008年11月
--	--	----------

中戸 祐夫

<論文>

「覇権と国際政治経済秩序：覇権安定論の批判的評価」白 昌宰, 中戸 祐夫, 浅羽 祐樹 (共著)	『立命館国際研究』第20巻第3号 pp.243-260 立命館大学国際関係学会	2008年3月
--	---	---------

中本 真生子

<著書>

『アルザスと国民国家』 晃洋書房 2008年2月

西村 智朗

<論文>

「京都メカニズム再考」 『法政論集』224号 55-100頁 2008年7月  
名古屋大学大学院法学研究科

<研究報告>

「持続可能な発展原則」 『温暖化防止に向けた将来枠  
組み—環境法の基本原則とポ  
スト2012年への提案』138-  
145頁 環境法政策学会編集  
(商事法務) 2008年6月

<講演>

「かめやまの環境法政策：廃棄物の規制と管理を中心  
に」 かめやま環境市民大学 亀山 2008年12月  
市総合保健福祉センター  
2008年12月18日

原 毅彦

<その他の執筆活動>

「歯はエネルギーの源—歯に関する民間伝承について  
—」(インタビュー・浅野久枝と共著) 『日本成人矯正歯科学会雑誌』 2008年6月  
日本成人矯正歯科学会

<研究発表>

「『密林の語り部』は何を語るか」 東京外国語大学アジア・アフ  
リカ研究所 共同研究プロジ  
ェクト「表象にかんする総合  
的研究」2008年11月8日 2008年11月

星野 郁

<論文>

「経済・通貨統合と拡大に伴うヨーロッパの労働市場  
と労使関係の変容」 『立命館国際研究』第20巻第  
3号 pp.113-152 立命館大  
学国際関係学会 2008年3月

## 本名 純

## &lt;著書&gt;

- |   |  |         |
|---|--|---------|
| 「インドネシア【政治・外交】」, 「スハルト」, 「東南アジアの軍」, 「9.30事件」, 「ウィラント」, 「プラボウォ」, 「ユドヨノ」  | 『東南アジアを知る辞典』 桃木至朗, 小川英文, Christian Daniels, 深見純生, 福岡まどか, 見市建, 柳澤雅之, 吉村真子, 渡辺佳成 (共著)<br>平凡社 | 2008年6月 |
| “From Dwifungsi to NKRI: Regime Change and Political Activism of the Indonesian Military,” in Marco Bunte and Andreas Ufen eds., <i>Democratization in Post-Suharto Indonesia</i> | Routledge Contemporary Southeast Asia Series, London: Routledge pp.226-247                 | 2008年8月 |

## &lt;論文&gt;

- |   |   |          |
|---|---|----------|
| 「マフィアたちの東アジア共同体? ——非伝統的安全保障問題としての越境犯罪」  | 『アジアの課題と日本』 NIRA モノグラフ・シリーズ<br>総合研究開発機構   | 2008年3月  |
| 「東アジアにおける非伝統的安全保障問題——テロと海賊（海洋犯罪）を中心に」   | 東京財団アジア研究会プロジェクト『アジアにおける非伝統的安全保障と地域協力』<br>pp.10-20  | 2008年4月  |
| “The Peace Dividend”  | Inside Indonesia 92 (April-July 2008) 3p.   | 2008年4月  |
| “Current Data on the Indonesian Military Elite, September 2005-March 2008”  | The Editors (Jun Honna and Takashi Shiraiishi) Indonesia 85 April, pp.79-122  | 2008年4月  |
| 「平和な時代の国軍改革」  | 『アジア研ワールド・トレンド』 154号 pp.13-15   | 2008年7月  |
| 「日本の得意分野を生かした協力を——テロ対策と海賊対策」  | 『外交フォーラム』 No.243 10月号 pp.48-50  | 2008年9月  |
| “Constructing Transnational Crime Threat in the Post-Suharto State: Security Sector Improvement or Trojan Horse for Anti-Reform?” | paper presented at the International Workshop, “The State and Illegality in Indonesia,” The Australian National University, 22-24 September 2008. | 2008年9月  |
| “Instrumentalizing Pressures, Reinventing Mission: Indonesian Navy Battles for Turf in the Age of Reformasi”                      | Indonesia 86 October, pp.63-80  | 2008年10月 |
- <研究発表>
- |                                   |  |         |
|-----------------------------------|--|---------|
| 「東アジアにおける越境犯罪に対する海上保安機関の国際協力の重要性」 | 海上保安学校講演 京都大学<br>東南アジア研究所<br>2008年2月7日     | 2008年2月 |
| 「インドネシア・国軍改革と人事の政治——ユドヨノ政権を中心に」   | 東南アジア学会関西地区例会<br>京都大学東南アジア研究所<br>2008年3月1日 | 2008年3月 |

立命館国際研究 21-3, March 2009

「東南アジアにおける越境犯罪——海賊（海洋犯罪）問題を中心に」	東京財団セミナー 2008年5月14日	2008年5月
“Towards a New Paradigm for the Regional Maritime Security Governance”	“Mainstreaming Human Security in ASEAN Integration,” ASEAN ISIS - JICA Research Project, in Manila, the Philippines 18, June 2008	2008年6月
「非伝統的安全保障問題としての越境犯罪～人身売買（TIP）を中心に～」	京都大学東南アジア研究所 夏期セミナー『東南アジア世界の光と影』2008年9月2日	2008年9月
「ポスト・スハルト時代のインドネシアにおける政治暴力の変容」	「政治における暴力の複合的研究」研究会 東京大学法学部 滋賀県近江八幡市 2008年9月13日	2008年9月
「東南アジアにおける非伝統的安全保障～現状と課題」	経済同友会アジア委員会 経 済同友会 経団連ビル 2008年10月7日	2008年10月
“Indonesia-Japan Strategic Partnership in the Political and Security Field”	「日インドネシア50周年記念 セミナー」在インドネシア日 本大使館 インドネシア・ジ ャカルタ日本博覧会2008会 場 2008年11月3日-4日	2008年11月

松下 洌

<著書>

『グローバル化時代の政治学』（共著） 法律文化社 2008年4月

<翻訳>

『米国のラテンアメリカ，中東政策と新自由主義の深層』（グレッグ・グランディン著）（監訳） 明石書店 2008年6月

<論文>

「メキシコ農村から見たNAFTAの軌跡と現実（上）——農村の貧困化とトルティーヤ危機——」 『アジア・アフリカ研究』第48巻第1号, pp.2-30 アジア・アフリカ研究所 2008年1月

「メキシコ農村から見たNAFTAの軌跡と現実（下）——農村の貧困化とトルティーヤ危機——」 『アジア・アフリカ研究』第48巻第2号, pp.2-34 アジア・アフリカ研究所 2008年3月

「グローバル・サウスにおけるローカル・ガバナンスと民主主義—参加型制度構築の視点と現状—」 『立命館国際研究』20巻3号 pp.153-196 立命館大学国際関係学会 2008年3月

<研究報告>

「ラテンアメリカと新自由主義再考：その起源からポスト新自由主義まで，そしてメキシコの位置」 東アジア地域研究会 2008年6月14日

松田 正彦

<著書>

“Compression wood anatomy of *Agathis dammara* with particular reference to the comparison between compression wood and opposite wood” (共著) T. Nobuchi and M.H. Sahri (eds.) 『The Formation of Wood in Tropical Forest Trees: A Challenge from the Perspective of Functional Wood Anatomy』, pp. 63-75. Serdang: UPM Press (Penarbit Universiti Putra Malaysia) 2008年

<論文>

「ミャンマー・シャン州中国国境域における稲作の変容—浸透する米増産政策と国境を超える農業技術」(共著) 『農耕の技術と文化』27 2008年

<学会発表>

「中央乾燥平原の農業生態システム」 ビルマ研究会 (アジア経済研究所) 2008年5月

「ミャンマー中央乾燥平原における不確実な降雨と天水畑作生産の年変動」 日本熱帯農業学会 (第104回大会 鹿児島大学) 2008年10月

<研究発表>

「ビルマの唯事一周縁山地の自然と人々」(導入) 民族自然誌研究会 (第52回例会 京都大学) 2008年7月

<その他の文筆活動>

(項目執筆) 桃木至朗, 小川英文, クリスチャン・ダニエルズ, 深見純生, 福岡まどか, 見市建, 柳澤雅之, 吉村真子, 渡辺佳成編, 『東南アジアを知る事典』 平凡社 2008年6月

南野 泰義

<論文>

「19世紀アイルランドにおけるナショナリズム運動と知識人 (2・完)」 『立命館国際研究』21巻2号 pp.83-103 立命館大学国際関係学会 2008年10月

文 京洙

<翻訳>

徐仲錫『韓国現代史60年』(原文:韓国語) 明石書店 2008年1月

<著書>

『済州島四・三事件——島(タムナ)の国の死と再生の物語』 平凡社 2008年4月

森岡 真史

<論文>

- |                           |                                       |         |
|---------------------------|---------------------------------------|---------|
| 「社会主義とソヴェト経済—ブルツクス晩年の思索—」 | 『立命館国際研究』20巻3号 pp.197-224 立命館大学国際関係学会 | 2008年3月 |
| 「二月革命期におけるブルツクスの土地改革論」    | 『ロシア・東欧学会年報』第36号 pp.159-172           | 2008年3月 |

山下 範久

<著者>

- |                            |   |          |
|----------------------------|---|----------|
| 『グローバル・ヒストリーの挑戦』(共著)       | 第五章「世界システム論からグローバル・ヒストリーへ」 pp.77-90 山川出版社 | 2008年8月  |
| 『現代帝国論：人類史の中のグローバリゼーション』   | 日本放送出版協会（NHKブックス）                         | 2008年11月 |
| 『戦後日本スタディーズ・3：80・90年代』(共著) | 「ポスト冷戦と9・11のあいだ」 pp.43-64 紀伊国屋書店          | 2008年12月 |

<論文>

- |                               |                                 |          |
|-------------------------------|---------------------------------|----------|
| 「普遍主義の歴史的症狀」                  | 『神奈川大学評論』第59号 pp.51-59 神奈川大学出版会 | 2008年3月  |
| 「ポスト・リオリエント 1・『リオリエント』から考え直す」 | 『季刊at』第11号 pp.122-134 太田出版      | 2008年4月  |
| 「ポスト・リオリエント 2・帝国から考え直すための準備」  | 『季刊at』第12号 pp.129-140 太田出版      | 2008年6月  |
| 「ポスト・リオリエント 3・共和主義をめぐって」      | 『季刊at』第13号 pp.128-140 太田出版      | 2008年9月  |
| 「ポスト・リオリエント 4・〈帝国〉について」       | 『季刊at』第14号 pp.129-140 太田出版      | 2008年12月 |

<翻訳>

- |   |                         |         |
|---|-------------------------|---------|
| イマニュエル・ウォーラーステイン『ヨーロッパの普遍主義：近代世界システムにおける構造的暴力と権力の修辞学』 | 明石書店                    | 2008年8月 |
| エリック・ミラン「ヨーロッパにおける商人資本主義をめぐるパースペクティヴ」                 | 『環』第34号 pp.186-211 藤原書店 | 2008年7月 |

<書評>

- |                         |                         |         |
|-------------------------|-------------------------|---------|
| 「新しいラスカサス主義としての『文明の接近』」 | 『環』第32号 pp.152-155 藤原書店 | 2008年1月 |
|-------------------------|-------------------------|---------|



<講演>

「リオリエント再考」	第3回東アジア専門家会議 「現代中国の歴史的位相」立 命館大学国際地域研究所 立 命館大学 2008年2月22日	2008年2月
「文明としてのワイン，文化としてのワイン」	日本ソムリエ協会東北支部 2008年第1回例会 仙台サン プラザ 2008年2月17日	2008年2月
「『近代』の相対化：帝国概念の再導入と長い20世紀」	「地歴教育を考える会」研究 会 帝国書院「地歴教育を考 える会」日本教育会館一ツ橋 ホール 2008年3月20日	2008年3月
「世界システムで見るアジア：長い20世紀の視点から」	関西大学経済学部学術講演会 関西大学 関西大学千里山キ ャンパス 2008年5月16日	2008年5月
「ワインのグローバル化と日本」	株式会社エスボア勉強会 鉄 二保健会館 2008年7月23 日	2008年7月
「グラスのなかの〈帝国〉」	SYNODOS（シノドス）第23 回セミナー Monalisa 恵比寿 本店 2008年7月26日	2008年7月
「ポランニー的不安とメタ普遍主義」	長池講義（第三回）長池自然 文化館 2008年11月1日	2008年11月

<その他の文筆活動>

「システム概念の再導入 2・再帰的界面と人類学的界面」	『10 + 1』第50号 pp.45-47 INAX出版	2008年3月
「名著で味わう食文化 砂糖，ワイン，麵の歴史で知る 食はイコール哲学」	『週刊エコノミスト』2008年 8月12・19日合併号 毎日新 聞社	2008年8月

若菜 マヤ

<著書>

“‘Obsessed’ with James: Professionalism vs. Amateurism in ‘The Real Thing’”	<i>Tracing Henry James</i> , Eds. Greg Zacharias and Melanie Ross. Newcastle, UK: Cambridge Scholars Publishing, 2008. pp.64-77. (ISBN978-1847189158)	2008年12月
---	--	----------

Michel WASSERMAN

<著書>

“D’or et de neige. Paul Claudel et le Japon”	Editions Gallimard	2008年3月
“Mozart à Kyoto”	Editions Les Indes savantes	2008年10月

立命館国際研究 21-3, March 2009

<論文>

'Les lieux du spectacle' "Atlas historique de Kyoto" Editions de l'amateur 2008年11月

**Giorgio SHANI**

<論文>

'Towards a Post-Western IR: The Umma, Khalsa Panth and Critical International Theory' International Studies Review Volume 10 Special Issue 2008: pp.722-734. Blackwell 2008年12月

'Religious Transnational Actors and World Politics' The Routledge Handbook of Religion & Politics (London: Routledge, 2008), ed. Jeff Haynes pp.308-322. Routledge 2008年12月

<学会発表>

'Towards a Critical Human Security Paradigm? Beyond Critical Security Studies: Human Security in the Age of Globalization' 第49回国際研究学会 (ISA), サンフランシスコ, 米国 49th Annual Convention of the International Studies Association (ISA), San Francisco, USA, 2008年3月29日 2008年3月

'Globalization, Human In/Security and Cultural Diversity', 国際会議'Globalization, Difference and Human Security' 大阪大学 2008年3月12日 2008年3月

"Globalization, The 'War on Terror' and Human In/Security in South Asia" 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 2008年6月12日 2008年6月

<研究発表>

Globalization, Migration and Human Security Workshop on Human Security and Migration: Southern Africa and Japan in Comparative Perspective University of Pretoria, 南アフリカ 2008年9月1日 2008年9月

**Michael SUTTON**

<論文>

'Democratic Governance in Developing Countries: Towards a Democratic and Prosperous East Asia' 『Ritsumeikan International Affairs』 Vol. 6 2008年3月

'Maritime Logistics and the World Trading System' 『立命館国際研究』20巻3号 pp.225-242 立命館大学国際関係学会 2008年3月

'Japan, Economic Partnership Agreements and the Asia Pacific: Accomplishments, Limitations and Possibilities'	Social System Studies Journal, Institute of Social Systems, Ritsumeikan University No. 16	2008年3月
'Japan, Mongolia and the Potential of Ecotourism'	『立命館国際研究』21巻1号 pp.39-55 立命館大学国際関係学会	2008年6月
"Energy Security in an Age of Anxiety: Challenges and Opportunities for the Asia Pacific"	『立命館国際研究』21巻2号 pp.105-119 立命館大学国際関係学会	2008年10月
'Persuading Powers: Australia's Multilateral Trade Policy (1983-1995)'	『Ritsumeikan Annual Review of International Studies』 Vol. 7	2008年12月
<研究発表>		
"Globalization and Ecotourism: How Should Mongolia Utilize Her Sightseeing and Environmental Resources?"	Paper presented to the Mongolia-Japan International Academic Symposium, Aoyama Gakuin University/WTO Research Center, February 1st 2008	2008年2月
"Dimensions of Energy Security in the Asia Pacific: Implications for Maritime Logistics"	2008 International Conference on Shipping, Port and Logistics Management, Kainan University, Taiwan, 28-29 March	2008年3月
"The Second Demographic Transition in Developed Countries: Is there a Conventional Wisdom?"	Paper presented to "Spatial Challenges of Future Demographic Restructuring" (International Geographical Union) conference, Mannheim University, August 8-9, 2008, Germany	2008年8月
"Demographic and Environmental Transitions in Developed Countries and China"	"The Six University Symposium", "How Should the World Live With China?", hosted by Ritsumeikan University, Biwako Kusatsu Campus, November 5-7, 2008	2008年11月
<b>Peter MAUCH</b>		
<著書>		
'The Japanese Navy and the London Naval Conference' (共著)	"Exploring Intelligence Archives: Enquiries into the Secret State" Routledge	2008年3月
<論文>		
「日本海軍と昭和一六年の日米交渉：新史料紹介」(研究ノート)	『立命館国際研究』21巻2号 pp.201-209 立命館大学国際関係学会	2008年10月

立命館国際研究 21-3, March 2009

<研究発表>

“Naval Diplomat Nomura: Ambassador Nomura and  
the Japanese-U.S. Negotiations, 1941”

Flinders University, History  
Department Seminar Series  
12. November, 2008

2008年11月